

# 「柑橘園地の改善で、安定生産実現へ」



小野山 竣也 (22歳) 新規学卒  
(愛南町)

## 1 就農の動機・理由

専業農家であった両親の姿を小さいときから見ており農業は身近な存在だった。その両親の姿を見て、物心が付いた頃から将来は自分も農業をしたいと考えるようになった。

愛媛県立南宇和高等学校農業科を卒業後、愛媛県立農業大学の果樹コースに進学し、柑橘栽培に関する知識、技術を習得した後に、第三者から農地を継承し、経営を開始した。

## 2 農業経営の概要

### ○経営の展開

項目	就農時の経営 (令和2年)		現在の経営 (令和5年)		将来の経営 (令和8年)	
労働力	男1人(本人)	両親2人(収穫時)	男1人(本人)	両親2人(収穫時)	男1人(本人)	両親2人(収穫時)
経営耕地	樹園地	125a	樹園地	125a	樹園地	125a
経営内容	河内晩柑	78a	河内晩柑	78a	河内晩柑	78a
	甘夏	35a	甘夏	35a	甘夏	35a
	その他柑橘	12a	その他柑橘	12a	その他柑橘	12a

○農業用施設  
農業用倉庫

1棟

### ○主要農業機械

軽トラック 1台  
運搬車 1台  
フォークリフト 1台  
動力噴霧機 1台

## 3 あしあと

### (1) 就農までの主な経歴

出身地 愛媛県愛南町

就農研修歴

愛媛県立農業大学校

(H30.4.1~R2.3.31)

就農年月 令和2年5月

### (2) 就農時の思い

農業大学校で知識、技術を習得してきたが自分1人で園地を管理していけるのか、管理不足で良いものができなくて、売り上げが減ったらどうしようという不安はあった。

また、面積が広いので、作業効率の良い園地作りをしていきたいと当初から考えていた。

## 4 就農時の取り組み

### (1) 技術の習得

両親や地元の青年農業者の先輩からの指導やアドバイス、出荷組織等の講習会へ積極的に参加している。

## (2) 資金の準備

自己資金の他、愛南町農林課に相談し農業次世代人材投資事業(経営開始型)を活用している。

## (3) 農地・住宅の確保

農地は自分が就農するタイミングで離農する方の農地と耕作放棄地を継承した。住宅は実家で両親と同居している。

## (4) その他苦労したこと

就農する際に資金面について、もう少し関係機関に相談していたら良かったと思う。また、継承した耕作放棄地の再生対策について苦労した。

## 5 農業経営の特徴

継承した園地が密植状態だったので計画的に縮・間伐を実施し、園内の作業性改善に取り組んでいる。樹高も高い樹が多いので、カットバックを行い、樹高切り下げも行っている。

## 6 これからの夢

将来は、両親が経営している園地も継承し、経営規模の拡大を行っていきたい。基幹品目である河内晩柑は毎年安定して50tは出荷できるように技術を磨いていきたい。

## 7 成功したキーポイント

家業や農業大学校での専門教育を通して知識や技術が身に付いたこと、就農するタイミングで離農される方の園地を継承できたことは大きかった。

日頃の管理では肥培管理を中心に基本となる作業を適期に行うことが大切と思う。

## 8 就農を目指す方へのアドバイス

農業は自分の頑張り次第で良くも悪くも結果が現れると思います。

大変なこともあります、努力を続けたら必ず良い結果がついてくる仕事だと思います。一緒に農業を盛り上げていきましょう。

### ○ 指導機関からのひとこと

小野山さんは、普段から熱心に園地管理を行っており、また、将来を見据えた作業性の良い園地作りにも取り組むなど、指導機関だけでなく地域の生産者からも期待されています。

また、青年農業者組織の活動にも積極的に参加し、会員同士で情報交換を行っておられ、地域の担い手として更なる活躍を期待しています。

### 執筆機関

南予地方局農業振興課地域農業育成室  
愛南農業指導班  
電話番号 0895-72-0149



甘夏の収穫作業